

受動喫煙防止を熱く語る in 豊橋

～スモークフリー社会を目指して～



熱く語る松沢成文氏



2012年 6月24日(日)

会場: ほいっぶ (保健所・保健センター 講堂)

主催: (社)豊橋市薬剤師会

共催: (株)スギヤマ薬品・ファイザー(株)・ノバルティスファーマ(株)

後援: 愛知県・豊橋市・豊橋市教育委員会・中日新聞社

豊橋市医師会・豊橋市歯科医師会・愛知県薬剤師会

豊橋ゴールドenロータリークラブ

協力: こどもをタバコから守る会



豊橋市薬剤師会 会長 杉浦宏始



佐原市長あいさつ

厚生労働大臣 小宮山洋子氏より激励の手紙

豊橋市薬剤師会市民公開講座「受動喫煙防止を熱く語る in 豊橋 ～スモークフリー社会を目指して～」のご開催、おめでとうございます。

たばこが、私たちの健康に悪影響を及ぼすことは確かです。そうした事実を広く知っていただくため、松沢成文さんをお招きして、今日このような講座が開催されることを大変心強く感じています。準備にあられた皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

厚生労働省は、がん対策推進基本計画の改定にあたって、初めて喫煙率の数値目標を設定するなど、国民の命を守るための取り組みを進めています。

しかし、たばこから国民の生命と健康を守るには、政府だけでなく、皆様おひとりおひとりの活動が大きな力となります。これからもお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

今日ご参加の皆様のますますのご活躍と貴会のご発展をお祈りして、私の挨拶とさせていただきます。

厚生労働大臣 衆議院議員 小宮山 洋子

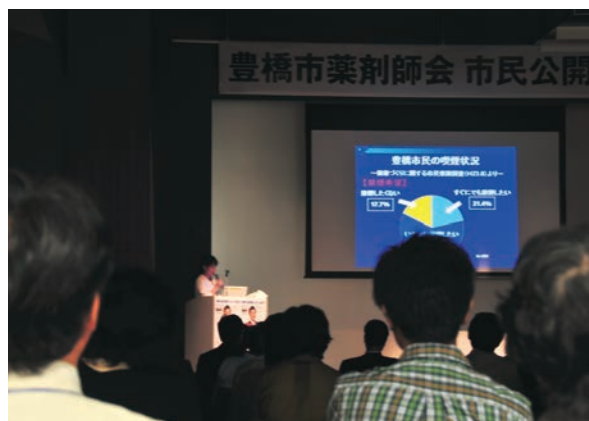
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館13号室
TEL 03-3508-7319 FAX 03-3508-3319

『受動喫煙』の文字を見たこと、耳にしたことがありますか？

国の「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）計画」が策定され、9項目の健康課題の4項目にたばこがあります。10年が過ぎ再評価され、来年度からは第2期新健康日本21の計画が実施されようとしています。その中でも、たばこは重要課題の一つに位置付けられます。豊橋市も平成14年から「健康とよほし推進計画」が策定され、健康づくり部に豊橋市薬剤師会が参画し、本日、松沢前神奈川県知事を講師にお迎えした市民公開講座が開催出来るまでになりました。また平成18年より世界禁煙デーには豊橋市保健所と共に、豊橋駅ペDESTリアンデッキで街頭キャンペーンさらにその禁煙週間には大型ショッピングセンター等で啓発活動及び禁煙相談を続けて、今年で7回を迎えています。

本日は、御来賓の佐原豊橋市長はじめ公職の議員の先生方そしてご来場の市民県民の皆様、好天の日曜日にも関わらず豊橋市薬剤師会の市民公開講座によろこそお越し下さいました。有難うございます。約二時間「受動喫煙」について一緒に考えましょう。

はじめに



受動喫煙を熱く語るin豊橋 に参加して

こどもをタバコから守る会・代表

浜名医師会・理事 加藤一晴

会場は豊橋市保健所・保健センター講堂。参加者とともに「受動喫煙」について考えました。

かつて、横浜市民だった佐原市長は、挨拶の中であるエピソードを披露しました。出張と思われるサラリーマンから歩きタバコをしている市民を見て、「何だこの街は、駅前で平気でタバコが吸えるんだ？何と遅れているのだ...」。

市長にはこの悔しい想いが根底にあったのでしょうか。豊橋でも7月から罰則付きの路上喫煙禁止条例が始まりました。現在の豊橋市民の喫煙率は15%ですが、様々な反対意見を制して、条例制定の運びになりました。徐々に規則を掛けつつ、今後は市民あげて「受動喫煙の防止」や「喫煙率の低下」を目指したいと宣言しました。

小宮山洋子厚生労働大臣からの激励メッセージを披露したあと、20分間で45枚のスライドを用意し、8個の動画映像は受動喫煙に対し「海外の常識」と国内の現状を炙り出し、聴衆に確認してもらいました。

最大の目的は、地域住民に対し、「受動喫煙の有害性」を伝え、喫煙規制は不可欠であることを理解してもらうためです。「吸っていいですか？」の問いかけに対し、「いいよ」と言いがちですが、「あなたのDNAを傷つけてもいいですか？」との返答にはまず拒否します。

海外では、この2つは同じ意味ですが、わが国ではそうではありません。確認したことは、①タバコは発癌物質であること。②たばこ規制枠組み条例の目的を理解すること。③受動喫煙に関して市民意識高揚が行政の動きをスムーズにすること。であり、松沢氏の講演に繋がりました。



スモークフリー社会 を目指して

前神奈川県知事 松沢成文

2期の知事選挙のマニフェストに、禁煙条例を掲げました。県民にタバコと健康問題について、もう一度しっかり意識を持つと、「タバコの煙りのない社会」を目指そうとしました。たばこ規制枠組み条約（FCTC）を批准しても、欧米のように具体的施策をとらず、中央省庁に掛け合っても良い返事はもらえません。「国がやらないのなら、先進的な神奈川で条例制定し、全国に拡げるしかない!」。その想いで活動し始めました。

先進国のみならずシンガポール・韓国・台湾・マカオのホテル、レストラン、バーでは禁煙措置がとられています。それは、たばこ規制枠組み条約の目的である公共空間の禁煙化を守っているからです。

もうひとつは、タバコの販売規制を行い、消費を抑えることです。財務省がタバコ耕作者、製造、販売までの利権を有するため、他の省庁の権限が及びません。

確かにタバコは担税力があり、国家や地方自治体にとって貴重な財源ですが、例外なく喫煙者の健康被害の上に成り立っているのです。

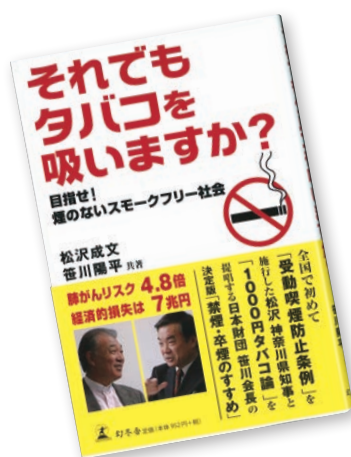
海外では様々な議論があり、法律施工により健康社会にシフトしていますが、何故か日本は低調です。それは国と折半する形で基礎自治体にタバコ税が入るために、自治体首長が話題にしたくないのです。つまり、たばこ規制枠組条約の主旨から逃げています。

賛成意見が多かった県民アンケートでは、終盤になり反対が上回りました。それはJT（日本たばこ産業）による組織票であることが判明したので、批判的な世論となりました。

更に、県内で飲食店別の交渉、宿泊業界、パチンコ業界など



一般社団法人 スモークフリージャパン 代表
一般社団法人 首都圏政策研究所 代表 他



こんな時に強力に支援してくれたのは、医療関係団体でした。日本の中でも先進的な神奈川から突破口を開いて、WHOのつとめた方法をとることに、賛意を示してくれたのです。県議会はこの状況下の条例制定を認められない雰囲気でしたが、県民の80%が賛成している条例です。最終的に議長と徹夜の交渉で、①小規模店舗には配慮する、②罰則を付けることで合意ができ議会を通過することができたのです。

結果を出さなければならぬので、負けるわけには行きません。最終的に生命倫理・健康の問題であり高度の理念が要求されます。県議会派には党議拘束を外し、県議会議員の信念で投票させて欲しいと言いました。

当然ながら県議会には条例案を潰すような意見が大半でした。不況下で実施すれば、倒産する店も懸念されました。従ってまずマナー啓発からスタートすべきだとの意見が多数を占めました。

3年間かけて、反対派と賛成派を巻き込みながら、徹底した議論を重ね、①基本的な考え方、②骨子案、③素案、④条例案へと移行するにつれ、一部軌道修正を余儀なくされました。

侃侃諤諤のタウンミーティングを50回行い、批准している国際条約の理解、神奈川県のスタンスを伝え、スモークフリー社会実現への協力・支援を要請しました。

東愛知新聞

2012年(平成24年)6月23日(土曜日)

発行所：豊橋市新栄町東町1番地
〒414-8655 電話0532-32-3111
東愛知新聞社
TEL 0532-32-3111
FAX 0532-32-3137

受動喫煙防止へ公開講座

あす前神奈川県知事迎え豊橋で

豊橋市薬剤師会は24日午後7時から、前神奈川県知事の松沢成文さんを講師に迎え、受動喫煙防止に関する市民公開講座を開く。

松沢さんは知事時代の09年、日本で初めて受動喫煙防止条例を制定した。豊橋市は7月1日から路上喫煙禁止条例を施行することになっており、先駆的な取り組みを通じて、広く市民に受動喫煙の害を知ってもらう目的で招く。

講座では、受動喫煙防止条例の根拠にある「スモークフリー」(たばこの煙にさらされない自由)の考えのほか、条例制定までの経緯を語る。

講座前には静岡県の浜名医師会会長の加藤一晴理事が受動喫煙の健康被害などについて講演する。

入場は無料、定員200人。問い合わせは豊橋市広小路の杉浦薬局(0532・52・1104)へ。(矢所書)

2012年6月23日 東愛知新聞

中日新聞

2012年(平成24年)6月25日(月曜日)

発行所：中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話052(20)38911

受動喫煙防止 熱く 豊橋 松沢さんが講演

全国初の受動喫煙防止条例の制定に力を注いだ前神奈川県知事の松沢成文さんが25日、豊橋市で「受動喫煙防止を熱く語る」と題して講演する。

講演では、松沢さんが知事二期目の二〇一〇年、神奈川県内で飲食店など不特定多数の人が利用する屋内施設(一部を除く)に禁煙や完全分煙を義務付ける条例を施行させた。現在は社団法人スモークフリージャパン代表理事を務める。

講演では、たばこの製造販売や税金を財務省が一括管理する法制度に触れ「財務省は税収が減るので規制をし

大物前知事三河に

2012年6月25日 中日新聞

東愛知新聞

2012年(平成24年)6月25日(月曜日)

発行所：豊橋市新栄町東町1番地
〒414-8655 電話0532-32-3111
東愛知新聞社
TEL 0532-32-3111
FAX 0532-32-3137

座りよう受動喫煙防止の輪

前神奈川県知事・松沢氏が講演

豊橋市薬剤師会・松沢成文氏による市民公開講座が24日、同市保健所保健センター講堂で開かれ、前神奈川県知事・松沢成文氏が約170人を前に受動喫煙防止について語った。

松沢氏は「神奈川県で条例ができたのが2010年。これはスモークフリーのスタートで全国に広めたい。東海に広がろうとしている」と語った。日本の現状については「健康よりもたばこを規制すれば、一時的には税収が減るが、中長期的には医療費が減る」と話した。

豊橋市薬剤師会「市民公開講座」

飲食業やパチンコ業界、たばこ会社など営業交換を重ねた松沢氏は「1年間に60万回以上でタワーマンションを行った。難しいが、徹底的に議論し、妥協を求めた」とスタートできた。受動喫煙防止について話す松沢氏。豊橋市保健所保健センターで。

2012年6月25日 東愛知新聞

～活動の記録～



PR活動を行っています。

受動喫煙を防ぐため、行政と協力して、マナー向上や快適なまちづくりのためのPR活動を行っています。

